

資料 5

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月31日

協議会名： 鴨川市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
鴨川日東バス株式会社	1 北ルート 金山ダム～鴨川駅西口～鯛 の浦～内浦山県民の森	計画に定めた目標の達成を 目指し、コミュニティバス各 ルートのパンフレット作成及 び配布をするとともに、モビ リティ・マネジメントの一環 として、小学生を対象とした 「公共交通乗り方教室」を開 催するなど、利用促進に取り 組んだ。また、利用者ニーズ に即したサービスとするた め、運行事業者から停留所ご と・便ごとの利用状況の定期 報告を受け、利用状況の把 握・分析に努め、利用者増加 に向けた検討を行った。	A 事業は計画に位置付けら れたとおり、適切に実施 された。	C 利用目標39,042人/年に対 し、実績では33,314人/年 であった。 内訳は、以下のとおり。 ○北ルート 実績 16,124人/年 (対前年比 96.9%) ○南ルート 実績 13,997人/年 (対前年比 94.1%) ○清澄ルート 実績 3,193人/年 (対前年比 68.5%) (理由等) 目標が達成できなかった 大きな要因として沿線住 民の減少が考えられる。 様々な利用促進事業に取り 組んだほか、スクール バスとしての活用も図っ ているが、目標値を達成 できなかった。	一層の利用促進を図るた め、乗り方教室等の継続的な 実施に取り組むとともに、バ スの乗り方等の周知を図るた めの資料を作成・配布するな ど新たな利用促進事業にも取 り組んでいく。 また、運行事業者から提供 される利用状況のデータ分析 に加え、利用者へのヒアリン グ調査等を実施し、利用者 ニーズや利用動態等の把握に 努めるとともに、これらの分 析結果に基づき、必要に応じ た運行ダイヤの改正等の検討 を行う。
	2 北ルート 金山ダム～鴨川市役所～鴨 川駅西口				
	3 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川 駅西口～浦の脇～鴨川駅前				
	4 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川 駅西口				
	5 南ルート 浦の脇～東条病院～鴨川駅 前				
	6 清澄ルート 奥清澄～清澄寺～天津小湊 支所				